



ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
(カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)
【今月の一冊】『知の逆転』 未来の真実がここにある
吉成真由美 著 NHK出版社395
ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

発行日 2014年2月1日 Vol. 136
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
代表取締役 渡 邊 敏 徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

努力

2月といえば「受験シーズン」ですが、受験生をお持ちのご家庭ではとても大変な季節ですね。記録的な大雪の関係もあり、とてもご苦労されていることと思います。

受験生はコツコツと努力した成果が試されます。「努力」という言葉はとても大切なものと小さいころから教わってきたように思います。

しかし、努力は必ずしも良い結果だけをもたらしません。「努力」とは、ある目的のために力を尽くして励むこと。すべてのことは自分の力で、自分の能力で切り抜けられると信じていることを指すそうです。

自分の「努力」で、世の中や自分の周りの環境がすべて成り立っているわけではありません。私が買ってきたお茶を、私の意志で飲んでいると思うかもしれませんが、お茶の葉を栽培して育てた方や湯飲みを作ってくれた方のおかげでお茶を飲むことができます。その意味では「自分の意志で飲んでいる」というのは少し傲慢な考え方と言えます。

太陽、水、空気、そして大地の力を借りて、食べ物という形を通して、私たちは生きていくことができます。自分の力で何かが成り立っていくものなんて、ごく僅かなことに気づきます。「努力」の反対語は「怠惰・怠慢」ではなく、「感謝」かもしれません。

受験生の皆さんは、お父さんやお母さん、また、ご家族や周りの人たちの応援があって今の自分があることを理解することが大切だと感じます。「感謝しなさい」ということではなく、「感謝」の気持ちが心の底から湧いてくることで充分だと思います。

人間は、優れた仕事をするためには、自分一人
でやるよりも、他人の助けを借りる方が良いもの
だと悟ったとき、その人は偉大なる成長を遂
げる。



読書のススメ

みなさんは1年間にどれくらい本を読みますか。私はここ数年35冊くらいです。現在の大学生の平均読書時間は、1日あたり30分くらいだそうです。

読書は何のためにするのでしょうか……。試験などのため、教養を深めるため、娯楽のためなどそれぞれいろんな目的のために読書をしていると思います。

教養を深め自分の生き方の参考にするための読書は、必要に迫られた試験のための読書と違い、自分自身に問題が起こってからでは手遅れになってしまいます。その必要性を感じないまま自然に身につけていることが理想のような気がします。切羽詰ってからではなく、日頃から読書が続けることが、人生の岐路に立ったときに進むべき方向性の判断に役立つと思うのです。評論家の小林秀雄さんは「一度はほんの虫になったことのないような人はダメだ」と言っています。

活字離れが進んでいる今日で、電子図書など便利なツールも利用しながら、読書を少しでもする習慣を身につけて自分自身を高めていけたらと思います。そういえば、亡くなった教師の父が「勉強しているか」という言葉ではなく「本を読んでいるか」と言っていたのを思い出しました。



【座右の銘にしたい名言】



人生にはたくさんの奇跡があると思うの。ここにこうして
生きていることも奇跡だし。「奇跡」にみんな気づいて
いないのよ。

(ダコタ・ファニング/米国天才子役少女)